

令和 6 年 3 月 8 日  
電力・ガス取引監視等委員会

## ベースロード取引市場 2023 年度第 4 回オークション、及び、ベースロード取引市場 2021 年度オークション(2022 年度受渡分)に係る監視について

電力・ガス取引監視等委員会は、本年1月に日本卸電力取引所において実施された2023年度ベースロード取引市場第4回オークションについて「ベースロード市場ガイドライン(以下、「ガイドライン」という。)」に基づき、供出上限価格の観点から監視を行い、監視結果を取りまとめましたので、以下のとおり公表します。

また、2021年度に日本卸電力取引所において実施された2022年度受渡分ベースロード取引市場についてガイドラインに基づき、受渡年度の翌年度である本年度に供出上限価格、供出価格の合理性の観点から監視を行い、その結果をまとめましたので、以下のとおり公表します。

### 〔1〕第4回オークション結果の概要

- ・ 今回のオークションは、短期商品(固定価格取引)のみであり、また、大規模発電事業者のベースロード市場への参加は任意である。
- ・ 第4回オークションの短期商品(固定価格取引)の約定量及び約定価格は以下のとおり。なお、九州市場においては約定なしとなった。

	約定量	約定価格
東日本	6.5MW	12.20 円/kWh
西日本	15.9MW	9.56 円/kWh

- ・ 短期商品(固定価格取引)について、2022年度第4回オークションと比べ、売札平均価格は8.69円/kWh低下し、買札平均価格は7.55円/kWh低下した。

	売札平均価格 <sup>※1</sup>	買札平均価格 <sup>※1</sup>
2022年度第4回オークション	21.56 円/kWh	17.53 円/kWh
2023年度第4回オークション	12.87 円/kWh	9.98 円/kWh
前期比増減(2023年度-2022年度)	▲8.69 円/kWh	▲7.55 円/kWh

※1:売札平均価格及び買札平均価格は、全エリアの注文量及び注文価格の加重平均にて事務局作成。

### 〔2〕第4回オークションの監視結果

- ・ 電力・ガス取引監視等委員会において、ベースロード市場に供出を行った大規模発電事業者の供出状況について詳細な分析を行うとともに、各事業者からその考え方等を聴取すること等により、ガイドラインに基づく取組がなされていたかどうか確認した。

- ・ 監視の結果、第4回オークションにおいてベースロード市場に供出した大規模発電事業者について、ガイドラインに照らして、供出上限価格が適切に算定されていない点は確認されなかった。また、供出上限価格以下の価格で市場への供出を行っていたことを確認した。
- ・ なお、今後の監視において、燃料価格の変動リスクをどのように供出上限価格に織り込むことを合理的と考えるべきか、という点について、現在、制度設計専門会合において議論されているところであり、その議論も踏まえつつ、監視を行っていく。

### [3]2021年度オークション(2022年度受渡分)の監視結果

- ・ ガイドラインに基づき、2021年度オークション(2022年度受渡分)の実績が確定した本年度において、大規模発電事業者から想定発電コスト・想定発電量と実績発電コスト・実績発電量との比較に必要な根拠の提出を求め、想定と実績との乖離に係る合理性を確認した。
- ・ その結果、監視の観点からは、実績と想定との乖離に合理性が乏しいと判断される点は確認されなかった。

(以上)

(本発表資料のお問い合わせ先)  
電力・ガス取引監視等委員会事務局  
取引制度企画室長 東  
担当者:神田、北田  
電話:03-3501-1552(直通)